

# 平成30年度評価調書 目次

## (快適環境・地域づくり部会)

### ■「施策」評価調書

施策項目	担当課	ページ
土地利用・市街地	総務課、建設水道課	1
景観・公園	建設水道課	1
住宅	建設水道課	2
道路・橋梁	建設水道課	3
積雪・寒冷対策	建設水道課	4
上水道	建設水道課	4
下水道	建設水道課	5
公共交通	税務住民課	6
環境保全	税務住民課	7
交通安全・防犯・消費生活	税務住民課	8
消防・救急救助	消防	9
防災	税務住民課	9
情報化	総務課	10
地域自治・地域内連係	税務住民課、政策推進課	10
効率的・効果的な行政運営	総務課、税務住民課、政策推進課、議会事務局	11
健全な財政運営	総務課、税務住民課、政策推進課	12
広域行政の推進	政策推進課	13

### ■「事務事業」評価調書

施策項目	事業名	担当課	ページ
土地利用・市街地	土地利用推進事業	総務課	14
	都市計画マスタープラン策定事業	建設水道課	14
住宅	公営住宅等整備事業	建設水道課	15
道路・橋梁	町道整備事業	建設水道課	15
	橋梁長寿命化修繕事業	建設水道課	16
上水道	下川浄水場整備事業	建設水道課	16

施策項目	事業名	担当課	ページ
下水道	浄化センター整備事業	建設水道課	17
公共交通	生活サポート地域公共交通事業	税務住民課	17
環境保全	廃棄物処理業務	税務住民課	18
交通安全・防犯・消費生活	消費生活活動事業	税務住民課	18
消防・救急救助	消防水利維持管理事業	消防	19
	消防車両更新事業	消防	19
防災	総合防災(危機管理)対策事業	税務住民課	20
情報化	地域情報通信基盤整備事業	総務課	20
効率的・効果的な行政運営	低炭素設備導入調査事業	総務課	21
	役場庁舎維持管理	総務課	21
	職員健康管理事務	総務課	22
	行政改革推進事業	総務課	22
	総合計画推進事務	政策推進課	23
	各種統計調査事務	政策推進課	23
	議会費	議会事務局	24
	監査委員費	議会事務局	24
健全な財政運営	町税等賦課徴収等業務	税務住民課	25

平成30年度「施策」評価調書

施策	土地利用・市街地		
担当課	総務課	建設水道課	

1 施策の目標と指標実績

目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>■社会情勢の変化や住民ニーズの動向等を踏まえ、有効な土地利用の推進を図ります。</li> <li>■人々が集まる新しい街の顔づくりに向けて、街のにぎわい空間を形成します。</li> </ul>
----	---

2 施策の評価

評価項目	評価結果	評価の理由
成果 (期待する成果が得られたか)	4. 期待以上の成果が得られた 3. 一応の成果が得られた 4 2. あまり成果が得られなかった 1. 全く成果が得られなかった	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町有地の景観保持のため、適正な管理を実施した。</li> <li>・都市計画マスタープランの策定にあたっては、町民検討委員をはじめ多くの方からご意見をいただき、今後のまちづくりの基本的な考え方をまとめることができた。</li> </ul>

3 施策に対する課題

<ul style="list-style-type: none"> <li>・市街地中心部の未利用空地土地（建物）について、取得し、整備、管理を進めているが、都市計画マスタープラン等に基づき、空洞化対策のため、今後検討を進め、有効利用を図っていく必要がある。</li> <li>・都市計画マスタープランなどの土地利用計画は、長期的な展望に立つのが基本ではあるが、社会情勢の変化を踏まえ、必要に応じた計画の見直しが必要である。</li> </ul>
--

平成30年度「施策」評価調書

施策	景観・公園		
担当課	建設水道課		

1 施策の目標と指標実績

目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>■安全・安心して快適に利用できるよう公園の適切な管理と利活用の充実を図ります。</li> <li>■誰もが気軽に利用できるよう利用者の視点に立った計画的な公園整備に努めます。</li> </ul>						
指標名	町民意向調査(不満足層)						
指標式等	公園、広場などの町民の憩いの場が整っている。						
区分	基準(H26)	H27	H28	H29	H30	目標	単位
目標値	26.9	-	-	-	25.0	25.0	%
実績値	-	-	-	22.4		-	%

## 2 施策の評価

評価項目	評価結果	評価の理由
成果 公園が安全・安心して快適に利用できているか。	4. 期待以上の成果が得られた 3. 一応の成果が得られた 2. あまり成果が得られなかった 1. 全く成果が得られなかった	定期的な点検等により適正に維持されている。
	3	

## 3 施策に対する課題

<p>今後、施設の老朽化に伴う維持補修費用が増加する。活用がされていない施設については廃止等の検討が必要になる。</p>
--

### 平成30年度「施策」評価調書

施策	住宅		
担当課	建設水道課		

## 1 施策の目標と指標実績

目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>■公共と民間のバランスのとれた賃貸住宅ストックの形成を図り、良好な住宅地の形成を進めます。</li> <li>■既存公共賃貸住宅の基本性能向上や適切な管理により、住みよさを実感できる居住環境に努めます。</li> <li>■環境に配慮した住環境の整備や長年にわたって快適に居住できる住宅づくりを支援するとともに、空き家の活用を推進します。</li> </ul>						
指標名	町民意向調査						
指標式等	居住環境がよい						
区分	基準 (H26)	H27	H28	H29	H30	目標	単位
目標値	43.4	-	-	-	50.0	50.0	%
実績値	-	-	-	36.2		-	%
指標名	町民意向調査						
指標式等	住み心地（住み良い、どちらかと言えば住み良いの割合）						
区分	基準 (H26)	H27	H28	H29	H30	目標	単位
目標値	79.1	-	-	-	80.0	80.0	%
実績値	-	-	-	73.9		-	%

## 2 施策の評価

評価項目	評価結果	評価の理由
成果 (期待する成果が得られたか)	4. 期待以上の成果が得られた 3. 一応の成果が得られた 2. あまり成果が得られなかった 1. 全く成果が得られなかった	住宅困窮者などへの住宅供給と入居者に対する快適な住環境の確保が行われている。
	3	

## 3 施策に対する課題

今後も下川町公営住宅等長寿命化計画に基づき、計画的な整備と適正な管理戸数とするための検討を進める。また、建設費の抑制に向けた買取型の公営住宅などの建設を検討して行く。

### 平成30年度「施策」評価調書

施策	道路・橋梁		
担当課	建設水道課		

## 1 施策の目標と指標実績

目標	■安全で快適な道路交通が確保できるよう道路・橋梁等の適切な維持管理と計画的な整備に努めます。						
指標名	町民意向調査(不満足層)						
指標式等	歩行者や自転車も含め、町内を快適、安全に移動できるよう道路が整備されている。						
区分	基準(H26)	H27	H28	H29	H30	目標	単位
目標値	26.7	-	-	-	25.0	25.0	%
実績値	-	-	-	23.9		-	%

## 2 施策の評価

評価項目	評価結果	評価の理由
成果 安全で快適な道路交通が確保できているか。	4. 期待以上の成果が得られた 3. 一応の成果が得られた 2. あまり成果が得られなかった 1. 全く成果が得られなかった	定期的な点検等により適正に維持されている。
	3	

## 3 施策に対する課題

5年に一度の橋梁点検が道路法で義務づけられたことにより、毎年度、一定程度の費用の負担が必要になる。施設の経年劣化により、補修では対応できず今後大規模な修繕が必要な場合も考えられる。

平成30年度「施策」評価調書

施策	積雪・寒冷対策		
担当課	建設水道課		

1 施策の目標と指標実績

目標	■冬期間における安全な交通と快適な生活環境を確保します。						
指標名	町道除排雪						
指標式等	除排雪路線数						
区分	基準 (H26)	H27	H28	H29	H30	目標	単位
目標値	137	137	137	137	137	137	路線
実績値	-	142	142	144	144	-	路線

2 施策の評価

評価項目	評価結果	評価の理由
成果 冬期間における安全な交通が確保されているか。	3 4. 期待以上の成果が得られた 3. 一応の成果が得られた 2. あまり成果が得られなかった 1. 全く成果が得られなかった	一定程度、冬季間の安全な道路交通が確保されている。

3 施策に対する課題

<p>老朽化による除雪機械の更新が今後必要になる。オペレーターについても人員が不足しているため、人材の確保が必要になる。</p>
--

平成30年度「施策」評価調書

施策	上水道		
担当課	建設水道課		

1 施策の目標と指標実績

目標	■快適な住民生活に欠かせない安全な水の安定供給に向け、水道施設の適切な維持管理と計画的な整備を推進します。						
指標名	給水区域内普及率						
指標式等	給水人口/給水区域内人口						
区分	基準 (H26)	H27	H28	H29	H30	目標	単位
目標値	98.5	98.6	98.7	98.8	99.0	99.0	%
実績値	-	98.6	98.9	99.3	99.3	-	%

指標名	有収率						
指標式等	年間給水量÷年間配水量						
区分	基準(H26)	H27	H28	H29	H30	目標	単位
目標値	68.8	72.5	76.0	79.5	83.0	83.0	%
実績値	-	69.6	78.3	75.8	73.0	-	%

## 2 施策の評価

評価項目	評価結果	評価の理由
成果 (期待する成果が得られたか)	4. 期待以上の成果が得られた 3. 一応の成果が得られた 2. あまり成果が得られなかった 1. 全く成果が得られなかった 3	水道水の安定的な供給につながっており、一応の成果が見られる。

## 3 施策に対する課題

<p>町民の快適で安全な生活に必要な水道水を安定的に供給するため、経年劣化した機械設備の改修を行いながら、計画的に浄水場の建替えに向けた取り組みを進める。</p>
---

### 平成30年度「施策」評価調書

施策	下水道		
担当課	建設水道課		

## 1 施策の目標と指標実績

目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>■雨水・汚水が継続的に処理できるよう下水道施設等の適切な管理と老朽化施設等の計画的な整備に努めます。</li> <li>■より多くの町民が水洗トイレ等による良好な生活環境が確保できるよう、水洗化率の向上に努めます。</li> </ul>						
指標名	水洗化率①(公共下水道処理区域内)						
指標式等	処理区域内水洗化人口/処理区域内人口						
区分	基準(H26)	H27	H28	H29	H30	目標	単位
目標値	96.0	96.5	97.0	97.5	98.0	98.0	%
実績値	-	95.7	96.0	96.3	96.5	-	%
指標名	水洗化率②(公共下水道処理区域外)						
指標式等	処理区域外水洗化人口/処理区域外人口						
区分	基準(H26)	H27	H28	H29	H30	目標	単位
目標値	58.4	58.4	60.0	60.7	61.5	61.5	%
実績値	-	59.1	61.7	64.8	65.2	-	%
指標名	有収率						
指標式等	年間有収水量/年間処理水量						
区分	基準(H26)	H27	H28	H29	H30	目標	単位
目標値	79.7	79.7	79.8	79.9	80.0	80.0	%
実績値	-	80.1	75.9	76.1	77.7	-	%

## 2 施策の評価

評価項目	評価結果	評価の理由
成果 (期待する成果が得られたか)	4. 期待以上の成果が得られた	新たな住宅・施設の整備に合わせて管渠等の整備を行っている。 老朽化していた設備の改修工事に伴い、不具合が解消され安定した施設稼働が図られた。
	3. 一応の成果が得られた	
3	2. あまり成果が得られなかった	
1. 全く成果が得られなかった		

## 3 施策に対する課題

衛生的で快適な生活環境を確保するため、住宅の新築や新たな施設整備の情報を把握しながら、下水道管渠等の整備を進めるとともに、老朽化した施設の長寿命化目指し、長寿命化計画に基づいた機械設備の更新を計画的に行う。

### 平成30年度「施策」評価調書

施策	公共交通		
担当課	税務住民課		

## 1 施策の目標と指標実績

目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 代替バス及び既存バス路線の路線確保及びデマンド交通との連携を図ります。</li> <li>■ 要交通支援者へ配慮したデマンド交通体制の充実を図ります。</li> <li>■ バス待合所の老朽化対策を進めます。</li> </ul>						
指標名	代替バス年間利用者数						
指標式等	代替バス年間利用者数＋既存バス年間利用者数						
区分	基準 (H26)	H27	H28	H29	H30	目標	単位
目標値	107,109	106,000	106,000	106,000	106,000	106,000	人
実績値		95,620	97,381	94,485	88,089		
指標名	デマンド交通年間利用者数						
指標式等	コミュニティバス＋予約型タクシー年間利用者数						
区分	基準 (H26)	H27	H28	H29	H30	目標	単位
目標値	15,412	15,500	15,700	15,800	16,000	16,000	人
実績値		17,138	18,223	17,810	16,733		

## 2 施策の評価

評価項目	評価結果	評価の理由
成果 (期待する成果が得られたか)	4. 期待以上の成果が得られた	代替バス及びデマンド交通のそれぞれで、利用人数は、年々減少しているものの、アンケート調査の結果では、9割以上の方が満足しており、公共交通としての役割は果たせている。
	3. 一応の成果が得られた	
3	2. あまり成果が得られなかった	
1. 全く成果が得られなかった		

### 3 施策に対する課題

デマンド交通(予約型乗合タクシー及びコミュニティバス)は、地域住民の地域公共交通としての役割は一定程度果たしているが、利用者は年々減少傾向にある。地域住民の全てが利用可能な公共交通として、今後は定期的な利用方法等の周知を行い、利用者の掘り起こしや、アンケート調査を基にした利便性の向上を図っていく必要がある。

#### 平成30年度「施策」評価調書

施策	環境保全		
担当課	税務住民課		

#### 1 施策の目標と指標実績

目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 快適な生活環境の確保と温暖化対策を結びつけた低炭素社会の実現のため、町、事業者及び町民等が一体となり、積極的に取り組みを進めます。</li> <li>■ 町全体の環境保全に努め、環境への負荷の少ない持続可能な資源循環型社会を構築させ、快適な生活環境を確保します。</li> </ul>						
指標名	廃棄物処理量						
指標式等	平成26年度実績処理量を維持していく。						
区分	基準(H26)	H27	H28	H29	H30	目標	単位
目標値	1,027	1,027	1,027	1,027	1,027	1,027	t
実績値	1,027	1,038	1,077	1,024	930		t

#### 2 施策の評価

評価項目	評価結果	評価の理由
成果 (期待する成果が得られたか)	4. 期待以上の成果が得られた 3. 一応の成果が得られた 3 2. あまり成果が得られなかった 1. 全く成果が得られなかった	廃棄物処理量が平成28年度までは増加傾向だったが、平成29年度以降は減少傾向にある。

### 3 施策に対する課題

名寄、下川、美深、音威子府の1市2町1村による名寄地区衛生施設事務組合の運営において、最終処分場は平成30年度より供用開始したが、炭化センター、衛生センターについても老朽化が進んでおり、更新等が課題となっている。

平成30年度「施策」評価調書

施策	交通安全・防犯・消費生活		
担当課	税務住民課		

1 施策の目標と指標実績

目標	■町民一人ひとりの交通安全・防犯意識の高揚と交通安全・防犯団体の育成、強化、公区との連携を推進します。 ■子供や高齢者等の要交通支援者に対する安全教育の充実を図るとともに、地域による活動の充実、地域間連携による運動等を展開します。 ■特殊詐欺やエコ活動に対する住民意識の高揚を図るとともに、情報提供を行い相談支援体制の充実を図ります。						
指標名	交通事故死ゼロ継続日数						
指標式等							
区分	基準 (H26)	H27	H28	H29	H30	目標	単位
目標値	81	293	658	1,023	1,388	1,388	日
実績値		293	658	1,023	1,388		
指標名	町内で発生する交通事故数						
指標式等							
区分	基準 (H26)	H27	H28	H29	H30	目標	単位
目標値	3	0	0	0	0	0	件
実績値		3	2	1	0		
指標名	町内で発生する犯罪件数						
指標式等							
区分	基準 (H26)	H27	H28	H29	H30	目標	単位
目標値	11	0	0	0	0	0	件
実績値		5	3	11	3		
指標名	消費行政事件の件数						
指標式等							
区分	基準 (H26)	H27	H28	H29	H30	目標	単位
目標値	1	0	0	0	0	0	件
実績値		12	15	22	27		

2 施策の評価

評価項目	評価結果	評価の理由
成果 (期待する成果が得られたか)	4. 期待以上の成果が得られた 3. 一応の成果が得られた 3 2. あまり成果が得られなかった 1. 全く成果が得られなかった	交通事故死ゼロ日数は継続しており、交通事故・犯罪件数とも増加傾向にはない。 消費行政においては、特殊詐欺の増加により相談件数は増加傾向にあるが、実質的な被害はない。

3 施策に対する課題

交通事故死ゼロの継続のため、今後においても交通安全の啓発活動を関係各機関とも連携しながら継続して実施していく必要がある。 また、消費者相談については、特殊詐欺事件が大きく影響しており、新たな手口で消費者を騙そうと試みるので、被害を未然に防ぐためにも速やかな情報提供体制を今後においても維持していく必要がある。
---

平成30年度「施策」評価調書

施策	消防・救急救助		
担当課	消防		

1 施策の目標と指標実績

目標	<p>火災や風水害等各種災害・救急事案から町民の生命財産を守るため、迅速かつ的確に活動できる消防体制を維持し、消防施設等の整備更新及び救急救助体制の高度化を更に推進し、地域の実情、町民の要望に応えられる消防防災・救急体制の充実を図ります。</p>
----	---

2 施策の評価

評価項目	評価結果	評価の理由
成果 (期待する成果が得られたか)	4. 期待以上の成果が得られた 3. 一応の成果が得られた 2. あまり成果が得られなかった 1. 全く成果が得られなかった	町民に密着した消防行政によって、事務事業の評価をもらっていると考える。
3		

3 施策に対する課題

<p>住宅用火災警報器の100%設置、消防団員の確保、救急救命士の増員、応急手当の普及、消防庁舎の老朽化など、どの事務事業にも消防行政・体制全般にも課題はあるが、限りある人員・設備・資機材を活用し町民の負託に応える。</p>
--

平成30年度「施策」評価調書

施策	防災		
担当課	税務住民課		

1 施策の目標と指標実績

目標	<p>■住民の生命と財産を守り、安全で安心な暮らしを確保するために、町民一人ひとりの防災・危機管理意識を高めるとともに、各種防災通信等機器の維持管理、防災無線の早急な更新、住民による組織、災害予防、災害事前対応、災害応急体制などの整備及び防災訓練を推進し住民の安全性を図ります。</p>
----	---

2 施策の評価

評価項目	評価結果	評価の理由
成果 (期待する成果が得られたか)	4. 期待以上の成果が得られた 3. 一応の成果が得られた 2. あまり成果が得られなかった 1. 全く成果が得られなかった	毎年の防災訓練の実施や各種防災機器等の更新を適時に行い、公区における自主防災計画の策定の支援を行っている。
3		

### 3 施策に対する課題

平成30年度において、下川町地域防災計画の全面改訂を行ったが、今後においては、初動マニュアルや業務継続計画等の策定について検討していく。  
また、「自らの命は自ら守る」ことを基本に、災害への備えの住民広報や防災訓練の継続を図り、更に住民への防災意識の向上を図っていく必要がある。

#### 平成30年度「施策」評価調書

施策	情報化		
担当課	総務課		

#### 1 施策の目標と指標実績

目標	<p>■情報通信技術の進展の動向を見極めながら、必要な施策を調査研究するとともに、地域情報通信基盤整備推進事業により整備した行政告知端末や光回線を活用します。また、整備済の情報基盤の維持管理及び必要な更新を実施するとともに、新たな利活用を図ります。</p>
----	--

#### 2 施策の評価

評価項目	評価結果	評価の理由
成果 (期待する成果が得られたか)	<p>4. 期待以上の成果が得られた</p> <p>3. 一応の成果が得られた</p> <p>4 2. あまり成果が得られなかった</p> <p>1. 全く成果が得られなかった</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地上デジタル放送の難視聴世帯の解消率が100%を達成している。</li> <li>・行政情報告知端末を利用した情報提供を実施できている。</li> </ul>

### 3 施策に対する課題

行政情報告知端末や関連ネットワーク機器の保守限界が近づいており、令和元年度から新システムの構築を行う必要がある。

#### 平成30年度「施策」評価調書

施策	地域自治・地域内連携		
担当課	税務住民課	政策推進課	

#### 1 施策の目標と指標実績

目標	<p>■自治基本条例に基づき、町民主権のまちづくりを進めるため、情報の共有を進めると共に、町民の参加を推進します。</p> <p>■地域間ネットワークの構築、地域自治活動の支援、地域担当職員と地域との連携の充実を図るとともに、公区会館の指定管理による管理及び有効利用を図ります。</p> <p>■地域活動の活発化や広報広聴活動の充実、情報提供を進めます。</p>
----	---

## 2 施策の評価

評価項目	評価結果	評価の理由
成果 (期待する成果が得られたか)	4. 期待以上の成果が得られた	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的な公区長会議の開催などにより各公区との情報交換や連携はできている。</li> <li>・広報紙は、手にとって、見て、読んでいただけるよう絵や写真を多く取り入れるなど、紙面の校正等工夫を凝らした。</li> <li>・PRキャラクター「しもりん」は、広報紙をはじめ行政での活用とともに、町内団体等で活用（グッズ、ラインスタンプ）いただくなど一応の成果が得られた。</li> </ul>
	3. 一応の成果が得られた	
	2. あまり成果が得られなかった	
	1. 全く成果が得られなかった	

## 3 施策に対する課題

・近年の高齢化や人口の減少により、公区内世帯の減少やそれに伴い役員のなり手も不足している状況がある。公区間での世帯数のバラツキも大きくなってきており、今後においては単独での公区の維持も難しくなっていく公区も出てくるのが十分に予想されるため、今後の公区のあり方や負担の軽減などを検討していく必要がある。

・広報紙は、公区回覧の際に受け取っていただけない世帯もあるため、より興味を引くような紙面作りに心掛けるとともに、紙面に専門的な標記が記載されることが多々あることから、子どもからお年寄りまで、理解できるよう表現の工夫が必要である。

・PRキャラクター「しもりん」は、町内で広く認知されており、引き続き、町内行事等において活用していただく。

### 平成30年度「施策」評価調査

施策	効率的・効果的な行政運営			
担当課	総務課	税務住民課	政策推進課	議会事務局

## 1 施策の目標と指標実績

目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>■自治基本条例に基づき、町民の行政への参加を推進し、町民主権のまちづくりを進めます。</li> <li>■要望に対応した、質の高い行政サービスを提供するために、行政改革大綱などに基づき、効率的・効果的な行政運営を行うとともに、時代に即応した行財政改革を推進します。</li> <li>■情報機器の活用や事務の見直しなど進め、行政事務の効率化を図り、住民サービスの向上を推進します。</li> <li>■各種電算システムを適正に維持管理します。</li> <li>■各種システムの運用・研修による行政サービスの向上を図ります。</li> <li>■行政サービス窓口での情報の共有化・利便性の向上を図ります。</li> <li>■議会での審議経過、決定過程など議会情報の公開性を高め、町民に分かりやすい議会を推進します。また、議会活性化を支援するとともに、議会活動等への理解を深めてもらうよう進めます。</li> </ul>
----	---

## 2 施策の評価

評価項目	評価結果	評価の理由
成果 (期待する成果が得られたか)	4. 期待以上の成果が得られた	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第8次下川町行政改革大綱及び下川町行政集中「革新」プランを策定し、第6期下川町総合計画策定とも連動させた取組みを実施。</li> <li>・各課の窓口業務担当職員が集まり、取扱業務や対応の確認などを行い、情報共有、相互連携が図られたため。</li> <li>・総合計画の推進にあたっては、審議会等の意見を反映し、評価・見直し等の進捗管理を適正に行うとともに、SDGsの理念を踏まえ、町民とともに「誰ひとり取り残されない」地域社会の実現に向けた「2030年における下川町のありたい姿」を策定した。</li> <li>・議会活性化の新たな取り組みとして、井戸ばた会議や本会議インターネット中継・配信等を実施し、議会に対する意見等が活性化していることから、議会活動への一応の理解を得られていると考える。</li> </ul>
	3. 一応の成果が得られた	
	2. あまり成果が得られなかった	
	1. 全く成果が得られなかった	

### 3 施策に対する課題

・ 少子高齢社会の到来とともに情報化・IT化の進展など社会・経済情勢は大きな転換期を迎え、地域課題や行政課題は高度化・複雑化しており、多様化する行政ニーズに対応するため、効率的・効果的な行政運営が求められている。引き続き、行財政の形づくり（組織・人づくり・政策と財政の両立）に主眼を置き、持続可能な地域社会を目指し行政改革を積極的に取り組む必要がある。

・ 行政サービス窓口での住民に対する利便性の向上を図っていくためには、各課横断的な情報の共有や連携が必要であり、必要に応じて下川町窓口業務対応力向上委員会や研修会を開催するなど、職員の意識改革を通してより良い総合窓口体制を目指していく必要がある。

・ 総合計画の推進にあたっては、町の財政に能力にあった施策の展開が必要であるため、評価と計画の見直しを効率的に実施して行く必要がある。また、計画の見直しに必要な「ものさし」（住民指標、行政指標）を適切に設定する必要がある。

・ 議会活性化に向けた取り組みをさらに進め、町民の意思を反映する仕組みを検証・実施する必要がある。

#### 平成30年度「施策」評価調書

施策	健全な財政運営		
担当課	総務課	税務住民課	政策推進課

#### 1 施策の目標と指標実績

目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 財政状況を総合的に判断して的確な分析を行い、明確な方針のもと、健全な財政運営を行います。</li> <li>■ 総合計画や行政評価等を踏まえた予算編成を行います。</li> <li>■ 総合計画と連動した財政運営を行うとともに、中長期の財政計画を策定します。</li> <li>■ 町民との情報共有を図るため、財政状況を明らかにし、わかりやすい資料を作成し公表します。</li> <li>■ 適正な課税に努め、納期限の周知や口座振替制度の利用促進などによる納期内納税を推進し、自主財源の確保を図るとともに収納率の向上を目指します。</li> </ul>
----	---

#### 2 施策の評価

評価項目	評価結果	評価の理由
成果 (期待する成果が得られたか)	4. 期待以上の成果が得られた  3. 一応の成果が得られた  3 2. あまり成果が得られなかった  1. 全く成果が得られなかった	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基金が減少し地方債は増加傾向となったが、財政の健全度を判断する「健全化判断比率（財政健全化法）」は、いずれも早期健全化基準を下回ったため。</li> <li>・ 電子計算システム導入等により、複雑化する税制改正等への対応等、手作業のみによる処理よりも正確性の向上に成果が見らるとともに、収納管理等、それぞれの対策を複合的に行うことにより、収納率の向上に成果が見られた。</li> <li>・ ふるさと納税については、近年、20,000千円から22,000千円の自主財源を得ており、一定程度の財源確保に繋がっている。</li> </ul>

#### 3 施策に対する課題

・ 近年の財政状況は、その根幹となる町税収入が増加傾向にある一方、全体の約5割を占める地方交付税等が減少傾向にあり、今後も歳入全体的大幅な伸びは期待できない状況にある。また、歳出については、公共施設老朽化への対応、地方創生に向けた取組など新たな財政需要が顕在化しており、財政健全化法における財政指標は健全な状態にあるものの、依然として厳しい財政運営が続くと考えられる。継続的・安定的に行政サービスを提供するためにも、財政状況などを的確に認識し、財政運営基準に基づいた“持続可能な財政運営”を確立していく必要がある。

・ 健全な財政運営のためには自主財源の確保が重要であり、各税目・科目において、現年度分の適正かつ公平な賦課等と徴収に努めているが、当該年度内での納付が困難な者も発生していることから、個別での納付相談等による対応によって、未収金の解消に努めていく必要があり、また、過去の年度における未収金である滞納繰越分についても、現年度分の徴収を優先しながら併せてその解消に努めていく必要がある。

・ ふるさと納税については、返礼品の拡充や新たなポータルサイト、クラウドファンディングを活用するなど安定的な自主財源の確保に努めているが、より一層の財源確保に努めていく必要がある。

平成30年度「施策」評価調書

施策	広域行政の推進		
担当課	政策推進課		

1 施策の目標と指標実績

目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>■上川北部圏域や天塩川流域の地域特性を活かし、圏域全体の発展を図ります。</li> <li>■本町の個性や主体性を発揮しながら、共通する地域の課題を解決するため、近隣市町村との連携や交流を深めるとともに、効果的、効率的な広域行政を推進します。</li> <li>■圏域の人口定住を促進するため、「中心市」の都市機能と「周辺市町村」の農林水産業、自然環境、歴史、文化など、それぞれの魅力を活用して、相互に役割分担し、連携・協力する定住自立圏構想を近隣市町村と連携して進めます。</li> </ul>
----	---

2 施策の評価

評価項目	評価結果	評価の理由		
成果 (期待する成果が得られたか)	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="text-align: center;">3</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>4. 期待以上の成果が得られた</li> <li>3. 一応の成果が得られた</li> <li>2. あまり成果が得られなかった</li> <li>1. 全く成果が得られなかった</li> </ul> </td> </tr> </table>	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>4. 期待以上の成果が得られた</li> <li>3. 一応の成果が得られた</li> <li>2. あまり成果が得られなかった</li> <li>1. 全く成果が得られなかった</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定住自立圏構想に基づいた、救急医療業務等が効率的に行われている。</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>4. 期待以上の成果が得られた</li> <li>3. 一応の成果が得られた</li> <li>2. あまり成果が得られなかった</li> <li>1. 全く成果が得られなかった</li> </ul>			

3 施策に対する課題

<ul style="list-style-type: none"> <li>・少子高齢化が進む圏域各自治体の人口定住を促進するため、農林水産業などの産業や文化、自然環境などそれぞれの魅力を最大限活用し、効率的で効果的な広域行政を進める必要がある。</li> <li>・地域住民の大切な足である公共交通機関の確保と産業の振興に深く関わりのある輸送網等について、近隣市町村とより一層、連携を強くしなければならない。</li> </ul>
---

平成30年度「事務事業」評価調査

事業名	土地利用推進事業	担当課	総務課
施策	土地利用・市街地	推進施策	有効な土地利用の推進
		総合戦略施策項目	

事業の目的				
環境美化や景観保持及び市街地中心部の未利用土地の有効活用を図る。				
事業の概要				
市街地中心部の未利用空地土地（建物）について、取得し、整備、管理することにより、市街地中心部の空洞化や空地対策を図る。				
平成30年度実施内容				
○町有建物除却工事（旧市村組事務所） ○役場庁舎駐車場用地購入				
決算額(単位：千円)			事務事業の評価	
年度	29年度	30年度	評価結果	B. 一応の成果が得られた
決算額		14,704	課題	
財源内訳	国道支出金		サンルダム建設事業者に貸付していた用地の今後の利用について検討が必要。	
	地方債			
	その他			
	一般財源	14,704		

事業名	都市計画マスタープラン策定事業	担当課	建設水道課
施策	土地利用・市街地	推進施策	コンパクトで機能的な市街地整備の推進
		総合戦略施策項目	

事業の目的				
有効な土地利用の推進や、道路、公園、下水道などの公共施設の計画的な配置と整備の充実など、市街地整備の方針を示すことを目的とする。				
事業の概要				
現行の都市計画マスタープランは平成14年度に策定されたものであり、社会情勢や街づくりの状況なども計画策定時から変化してきていることから、2か年の計画で見直しを行った。				
平成30年度実施内容				
■全町民アンケート結果の確認、検討 ■町民検討委員会及び庁内検討委員会各4回実施（うち1回は合同）、都市計画審議会4回 ■都市計画マスタープランの策定 都市計画審議会における答申				
決算額(単位：千円)			事務事業の評価	
年度	29年度	30年度	評価結果	A. 期待以上の成果が得られた
決算額	4,387	3,453	課題	
財源内訳	国道支出金		都市計画マスタープランは、長期的な展望に立つのが基本ではあるが、社会情勢の変化を踏まえ、必要に応じた計画の見直しが必要である。	
	地方債			
	その他			
	一般財源	4,387		

※評価結果は、「A.期待以上の成果が得られた」「B.一応の成果が得られた」「C.あまり成果が得られなかった」「D.全く成果が得られなかった」の4分類で評価。

平成30年度「事務事業」評価調査

事業名	公営住宅等整備事業	担当課	建設水道課
施策	住宅	推進施策	快適な住環境の整備
		総合戦略施策項目	

事業の目的				
<p>少子高齢社会や移住・定住対策など多様化する住宅需要への対応と、住みよさを実感できる居住環境の確立に向けて、公営住宅などの整備を行う。</p>				
事業の概要				
<p>総合計画と連動した下川町公営住宅等長寿命化計画を策定し、平成27年度から令和6年度までの10か年で、計画的に公営住宅などの整備（建替・改善・除却）を進めていくとともに、管理戸数の適正化を図る。</p>				
平成30年度実施内容				
<p>■末広団地公営住宅個別改善(S60.61.62建設 6棟12戸:ユニットバス化・3点給湯等)                  ■元町団地公営住宅建設基本・実施設計</p>				
決算額(単位:千円)			事務事業の評価	
年度	29年度	30年度	評価結果	B.一応の成果が得られた
決算額	41,546	79,588	課題	公営住宅及び町営住宅の管理戸数の見直し
財源内訳	国道支出金	23,774	・老朽化した公営住宅及び町営住宅が多数あり、維持修繕に多額の費用が必要となっている。 ・公営住宅料等の滞納額が年々増加傾向であり、減少に向けて効率的な徴収事務を推進していく必要がある。	今後の方向性 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止
	地方債	17,300		
	その他			
	一般財源	472		

事業名	町道整備事業	担当課	建設水道課
施策	道路・橋梁	推進施策	町道の整備
		総合戦略施策項目	

事業の目的				
<p>安全で快適な道路交通を確保するため、道路側溝の整備を行う。</p>				
事業の概要				
<p>昨今の豪雨による道路の冠水や下流施設への被害を防止する。</p>				
平成30年度実施内容				
<p>■南1号線道路側溝整備工事（側溝整備L=152m、横断管渠整備L=43m）</p>				
決算額(単位:千円)			事務事業の評価	
年度	29年度	30年度	評価結果	B.一応の成果が得られた
決算額	58,258	19,040	課題	
財源内訳	国道支出金		整備した箇所については、当然の成果が得られるが、町全体の道路としてはまだ整備が必要な箇所がある。	今後の方向性 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止
	地方債	57,500		
	その他			
	一般財源	758		

※評価結果は、「A.期待以上の成果が得られた」「B.一応の成果が得られた」「C.あまり成果が得られなかった」「D.全く成果が得られなかった」の4分類で評価。

平成30年度「事務事業」評価調書

事業名	橋梁長寿命化修繕事業	担当課	建設水道課
施策	道路・橋梁	推進施策	
		総合戦略施策項目	

事業の目的				
安全で快適な道路交通を確保するため、橋梁の点検と計画的な整備により橋梁の長寿命化につなげる。				
事業の概要				
橋梁の長寿命化と修繕費用の縮減を図るため、従来の事後的な修繕から予防的な修繕へ転換する。また、平成26年3月に施行された道路法施行規則の改正に伴い、5年に一度、橋梁の近接目視点検が義務付けられている。				
平成30年度実施内容				
■補修工事：1橋（矢文橋L=170.00m） ■近接目視点検：30橋				
決算額(単位：千円)			事務事業の評価	
年度	29年度	30年度	評価結果	B. 一応の成果が得られた
決算額	45,986	69,077	課題	
財源内訳	国道支出金	28,339	44,833	5年に一度の橋梁点検が道路法で義務づけられたことにより、毎年度、一定程度の費用の負担が必要になる。施設の経年劣化により、補修では対応できず今後大規模な修繕が必要な場合も考えられる。
	地方債	11,600	18,600	
	その他			
	一般財源	6,047	5,644	
			今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止

事業名	下川浄水場整備事業	担当課	建設水道課
施策	上水道	推進施策	計画的な水道施設整備
		総合戦略施策項目	

事業の目的				
町民の快適で安全な生活に必要な水道水を安定的に供給するため、経年劣化した機械設備の改修を行うとともに、計画的な施設整備を行う。				
事業の概要				
昭和44年の建設から40年以上経過しており、施設の老朽化に伴う建て替えを行う。				
平成30年度実施内容				
下川浄水場建設基本計画策定（継続費H29.6.1～H30.11.30）				
決算額(単位：千円)			事務事業の評価	
年度	29年度	30年度	評価結果	B. 一応の成果が得られた
決算額	7,129	5,723	課題	
財源内訳	国道支出金			町民の快適で安全な生活に必要な水道水を安定的に供給するため、経年劣化した機械設備の改修を行いながら、計画的に浄水場の建替えに向けた取り組みを進める。
	地方債			
	その他			
	一般財源	7,129	5,723	
			今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止

※評価結果は、「A.期待以上の成果が得られた」「B.一応の成果が得られた」「C.あまり成果が得られなかった」「D.全く成果が得られなかった」の4分類で評価。

平成30年度「事務事業」評価調査

事業名	浄化センター整備事業	担当課	建設水道課
施策	下水道	推進施策	公共下水道の維持管理
		総合戦略施策項目	

事業の目的				
下川浄化センターの長寿命化を図るため、機械設備等の更新を行う。				
事業の概要				
平成8年に供用開始された下川浄化センターについて、平成24・25年度に策定した長寿命化計画に基づき、計画的に老朽化した機械設備等の更新を行う。				
平成30年度実施内容				
<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 浄化センター汚泥処理設備等改修工事（細目自動除塵機・し渣脱水機・汚泥スクリーン更新）</li> <li>■ 汚泥処理設備等改修工事に伴う施工監理委託</li> <li>■ 下水道ストックマネジメント計画策定委託業務（基本計画策定）</li> </ul>				
決算額(単位：千円)			事務事業の評価	
年度	29年度	30年度	評価結果	B. 一応の成果が得られた
決算額	52,380	41,234	課題	
財源内訳	国道支出金	28,620	17,100	地域住民の衛生的で快適な生活環境を確保するため、老朽化した施設の長寿命化目指し、長寿命化計画に基づいた機械設備の更新を計画的に行っていく。
	地方債	23,700	21,400	
	その他	60	2,750	
	一般財源			
			今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止

事業名	生活サポート地域公共交通事業	担当課	税務住民課
施策	公共交通	推進施策	デマンド交通の運営
		総合戦略施策項目	エネルギー自給を核とした中核拠点づくり

事業の目的				
交通空白地帯の解消及び利便性の高い地域交通を確保を図るために、予約型乗合タクシー「良いともタクシー」及びコミュニティバスの運行を行っている。				
事業の概要				
◎良いともタクシー 6運行区域（班渓、溪和、北町、まちなか(南町・西町・緑町・旭町・錦町・幸町・共栄町)、上名寄、三の橋、二の橋、一の橋） ◎コミュニティバス バスターミナル～五味温泉間（班渓線）				
平成30年度実施内容				
◎良いともタクシー1日平日・土5便 日・祝3便町内全区域運行 ◎コミュニティバス1日平日・土・祝5便 日4便運行 まちなか(一部地域除く)は玄関先まで送迎 一部分フリー乗降区間設定(町道桑の沢線区間)				
決算額(単位：千円)			事務事業の評価	
年度	29年度	30年度	評価結果	B. 一応の成果が得られた
決算額	17,615	12,482	課題	
財源内訳	国道支出金	1,400		アンケート調査を基に利便性の向上に努めていくとともに、利用人数が低く国庫補助の対象外となっている運行区域があるため、運行効率を上げていく必要がある。
	地方債			
	その他	301	23	
	一般財源	15,914	12,459	
			今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止

※評価結果は、「A.期待以上の成果が得られた」「B.一応の成果が得られた」「C.あまり成果が得られなかった」「D.全く成果が得られなかった」の4分類で評価。

平成30年度「事務事業」評価調書

事業名	廃棄物処理業務	担当課	税務住民課
施策	環境保全	推進施策	ごみ処理・再資源化の向上、促進
		総合戦略施策項目	

事業の目的				
快適な住民生活の確保と生活環境の保全並びに公衆衛生の向上を図る。				
事業の概要				
廃棄物の適正な分別・保管・処理等を行うとともに、廃棄物の排出抑制、資源化、再利用の3Rを推進する。				
平成30年度実施内容				
<ul style="list-style-type: none"> <li>一般廃棄物収集処理等委託業務 44,191,701円</li> <li>一般廃棄物最終処分場造成等工事 15,303,600円 (最終処分場終了に伴う覆土等工事)</li> </ul>				
決算額(単位：千円)			事務事業の評価	
年度	29年度	30年度	評価結果	B. 一応の成果が得られた
決算額	176,164	70,747	課題	
財 源 内 訳	国道支出金	490	平成29年12月まで土壌改良施設で処理していたが、事業者が処理業務を辞退したため、30年1月から炭化センターに搬出処理している。	今後の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止
	地方債	129,300		
	その他	10,030		
	一般財源	36,344		

事業名	消費生活活動事業	担当課	税務住民課
施策	交通安全・防犯・消費生活	推進施策	消費者生活啓発活動と消費者団体の育成
		総合戦略施策項目	

事業の目的				
消費者が安全に安心して快適に暮らせる生活環境づくりを推進する。				
事業の概要				
消費生活相談や特殊サギ被害などの未然防止、消費者団体の支援等、各種事業を推進する。				
平成30年度実施内容				
<ul style="list-style-type: none"> <li>1市3町1村による広域の消費生活センターで課題解決に向けた消費生活相談事業等を行った。(27件)</li> <li>特殊詐欺等の被害から消費者を守るため、迷惑電話防止装置モニターを募集し装置の設置を促した。(H30末で32件設置)</li> <li>消費者団体による空き店舗を活用し遊休品を譲渡等する場「ばくりっこ」の開設によって、埋立ごみの減量化、にぎわいの創出が図られた。</li> </ul>				
決算額(単位：千円)			事務事業の評価	
年度	29年度	30年度	評価結果	B. 一応の成果が得られた
決算額	1,649	2,048	課題	
財 源 内 訳	国道支出金	1,035	消費者団体の高齢化等により、今後において活動停滞の懸念があるため、消費者協会の活動を定期的にPRしていく必要がある。	今後の方向性 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止
	地方債			
	その他			
	一般財源	614		

※評価結果は、「A. 期待以上の成果が得られた」「B. 一応の成果が得られた」「C. あまり成果が得られなかった」「D. 全く成果が得られなかった」の4分類で評価。

平成30年度「事務事業」評価調査

事業名	消防水利維持管理事業		担当課	消防
施策	消防・救急救助	推進施策	消防体制の強化	
		総合戦略施策項目		

事業の目的				
消火栓、防火水槽及び防火用水路等の消防水利の損傷等を早期に発見し、常に最善の状態を維持する。また、水利不便箇所を解消し、火災等による被害を最小限に止める。				
事業の概要				
消火栓は設置から40年以上経過したものもあり、年次計画で更新を進めている。また、新設建物付近の消防水利不足が懸念されることから、年次計画を立て、防火水槽を新設し、水利の充実を図っている。				
平成30年度実施内容				
劣化した標識（消火栓・防火水槽）の交換。防火水槽除雪謝礼。消火栓・防火水槽除雪及び防火用水路草刈を委託。老朽消火栓の更新。故障消火栓の修理。防火水槽の新設。				
決算額(単位：千円)			事務事業の評価	
年度	29年度	30年度	評価結果	B. 一応の成果が得られた
決算額	3,362	14,387	課題	
財源内訳	国道支出金		火災等による被害を最小限に留めるため、消防水利を常に最善の状態に維持管理する。また、水利不便箇所を解消する必要がある。	
	地方債			
	その他			
	一般財源	3,362		

事業名	消防車両更新事業		担当課	消防
施策	消防・救急救助	推進施策	消防体制の強化	
		総合戦略施策項目		

事業の目的				
町民の安全・安心を目的に、複雑・多様化する各種災害に対応した消防体制の確立のため、計画的に消防車両等を更新し消防力の向上を図る。また、老朽化した車両を更新することにより職団員が安全に活動出来る。				
事業の概要				
年数経過により車両の維持管理及び修繕が困難となった車両について更新をするものである。				
平成30年度実施内容				
消防ポンプ自動車（CD-I型）更新				
決算額(単位：千円)			事務事業の評価	
年度	29年度	30年度	評価結果	A. 期待以上の成果が得られた
決算額	0	30,780	課題	
財源内訳	国道支出金		車両本体や装備の高度化により、価格が高騰しているということもあり、購入費用は増加傾向である。車種、並びに積載物品の選定に苦慮することが予想される。	
	地方債			
	その他			
	一般財源	0		

※評価結果は、「A. 期待以上の成果が得られた」「B. 一応の成果が得られた」「C. あまり成果が得られなかった」「D. 全く成果が得られなかった」の4分類で評価。

平成30年度「事務事業」評価調査

事業名	総合防災(危機管理)対策事業	担当課	税務住民課
施策	防災	推進施策	総合防災体制・災害情報システムの整備
		総合戦略施策項目	

事業の目的				
災害から町民の生命、身体と財産を守ることを目的とする。				
事業の概要				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 防災会議等の設置、町民全体等の防災訓練の実施、危機管理への備えなどへの取組みを行う。</li> <li>・ 災害の発生による被害を最小限とするための情報の提供や啓発などを行う。</li> </ul>				
平成30年度実施内容				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 避難時の応急物資の購入 【公助備蓄分】食品、飲料水、ガスボンベ、カイロ等 【備品】発電機等</li> <li>・ J-ALERT専用受信機等更改、下川町地域防災計画全面改訂</li> <li>・ 全国瞬時警報システム(J-ALERT)、緊急情報ネットワークシステム(Em-Net)等による訓練の実施</li> <li>・ 全町的な防災訓練の実施。(水防訓練及び水害を想定した避難訓練/参加186名)</li> </ul>				
決算額(単位:千円)			事務事業の評価	
年度	29年度	30年度	評価結果	B. 一応の成果が得られた
決算額	7,267	6,686	課題	
財 源 内 訳	国道支出金	3,300	100	下川町防災計画の全面改訂については行えたが、今後において、初動マニュアルの整備や業務継続計画などの各種計画の策定を順次行って行く必要がある。
	地方債		3,000	
	その他			
	一般財源	3,967	3,586	
			今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止

事業名	地域情報通信基盤整備事業	担当課	総務課
施策	情報化	推進施策	地域情報化の推進
		総合戦略施策項目	

事業の目的				
高度情報化時代を迎え、都市部と情報格差がなく安全で快適な生活を送るためには、放送と通信を含めた総合的な情報基盤整備が求められていた。このため、町内全域に住民要望のある超高速通信が可能な光ファイバーによる通信網を組み立て、効果的な地域の情報基盤を整備する。				
事業の概要				
行政情報告知端末の設置や、光回線の移設、増設を行う。				
平成30年度実施内容				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 転入、転居に伴い、未設置の住宅や新築に行政情報告知端末を設置</li> <li>・ 町内電柱移設に伴う光回線移設</li> <li>・ 行政情報告知端末を利用した各種情報の配信</li> </ul>				
決算額(単位:千円)			事務事業の評価	
年度	29年度	30年度	評価結果	A. 期待以上の成果が得られた
決算額	22,766	20,192	課題	新システムの構築
財 源 内 訳	国道支出金			ネットワーク機器類や行政情報告知端末の保守限界が近づいていることから、令和元年度から新システムの構築を行う必要がある。
	地方債			
	その他	10,569	11,096	
	一般財源	12,197	9,096	
			今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止

※評価結果は、「A.期待以上の成果が得られた」「B.一応の成果が得られた」「C.あまり成果が得られなかった」「D.全く成果が得られなかった」の4分類で評価。

平成30年度「事務事業」評価調書

事業名	低炭素設備導入調査事業	担当課	総務課
施策	効率的・効果的な行政運営	推進施策	柔軟で総合的・計画的な行政運営
		総合戦略施策項目	

事業の目的				
複数の施設を一括により設備導入を行い、賃貸借リースにより費用を支払うもので、環境省の「二酸化炭素排出抑制対策事業」補助金省CO2促進事業を活用し、公共施設の設備改修を行う				
事業の概要				
調査費として改修によるCO2削減効果や費用対効果、投資回収に必要な年数等の調査費にかかる定額補助上限2,000万円。設備導入費としてその調査結果、複数施設の高効率設備への改修1/3：上限8,000万円設備導入を民間事業者が実施し自治体がリースにより支払				
平成30年度実施内容				
導入調査：LED改修20施設、ボイラー等改修6施設 合計21施設 設備導入：LED改修9施設、ボイラー等改修4施設（補助対象外含む）				
決算額(単位：千円)			事務事業の評価	
年度	29年度	30年度	評価結果	B. 一応の成果が得られた
決算額		14,097	課題	
財 源 内 訳	国道支出金		補助金と年間電気料の削減効果額により、少ない負担額でLED、ボイラー改修が可能となった	
	地方債			
	その他	13,611		
	一般財源	486		
			今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止

事業名	役場庁舎維持管理	担当課	総務課
施策	効率的・効果的な行政運営	推進施策	柔軟で総合的・計画的な行政運営
		総合戦略施策項目	

事業の目的				
役場庁舎の維持管理並びに外周、駐車場等を整備し管理する。				
事業の概要				
役場庁舎の光熱費及び消耗品等の必要経費を執行するとともに、庁舎の電気設備、エレベーター、自動ドア、消防設備、電話設備等の保守点検及び夜間警備、電話交換、清掃業務等を委託し実施している。				
平成30年度実施内容				
○役場駐車場整備工事 ○貯水槽配管破裂 ○煙突アスベスト封じ込み対策				
決算額(単位：千円)			事務事業の評価	
年度	29年度	30年度	評価結果	B. 一応の成果が得られた
決算額		34,695	課題	
財 源 内 訳	国道支出金		建物全体が老朽化、経済的な修繕が必要 令和2年度耐震診断予定	
	地方債			
	その他	13,425		
	一般財源	34,118		
			今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止

※評価結果は、「A.期待以上の成果が得られた」「B.一応の成果が得られた」「C.あまり成果が得られなかった」「D.全く成果が得られなかった」の4分類で評価。

平成30年度「事務事業」評価調書

事業名	職員健康管理事務	担当課	総務課
施策	効率的・効果的な行政運営	推進施策	柔軟で総合的・計画的な行政運営
		総合戦略施策項目	

事業の目的				
職員の心身における健康保持及び快適な職場環境の形成を図るため。				
事業の概要				
労働安全衛生法の規定に基づき、健康診断、ストレスチェック等の事務を実施する。				
平成30年度実施内容				
職員健康診断の実施、2次検診の取りまとめ、特定検診に係る保健指導対象者への通知、安全衛生管理事務、職員研修（健康管理に関する）、ストレスチェックの実施、町村会・共済組合からのメンタルヘルス通信を全職員に配信				
決算額(単位：千円)			事務事業の評価	
年度	29年度	30年度	評価結果	B. 一応の成果が得られた
決算額	3,750	3,166	課題	
財 源 内 訳	国道支出金		疾病の予防や早期発見に向け、組織的にそれらを支援する体制づくりが必要である。	今後の方向性 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止
	地方債			
	その他			
	一般財源	3,750		

事業名	行政改革推進事業	担当課	総務課
施策	効率的・効果的な行政運営	推進施策	効率的で効果的な行政サービスの提供
		総合戦略施策項目	

事業の目的				
社会情勢や地域ニーズに迅速かつ適切に対応することができる行財政運営を目指すため、行政改革に取り組む必要がある				
事業の概要				
下川町行政改革推進本部を中心に、第8次下川町行政改革大綱及び実行計画（計画期間：平成29年度～令和2年度）に基づき、行政改革の取り組みを実施				
平成30年度実施内容				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・町の財政状況の悪化、産業の振興、人口減少、超高齢化対応など、総合的かつ将来的な展望を見据え、行政改革の取り組みを更に強力に推進するため、下川町行財政集中「革新」プラン策定</li> <li>・第6期下川町総合計画策定に併せて、事務事業見直しを実施（事業補助・団体補助・施設管理運営・ソフト事業の見直し）</li> </ul>				
決算額(単位：千円)			事務事業の評価	
年度	29年度	30年度	評価結果	C. あまり成果が得られなかった
決算額	16		課題	
財 源 内 訳	国道支出金		持続可能な地域社会を形成するため、公共施設の管理運営及び福祉・医療施設の収支改善に喫緊に取り組む必要がある	今後の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止
	地方債			
	その他			
	一般財源	16		

※評価結果は、「A. 期待以上の成果が得られた」「B. 一応の成果が得られた」「C. あまり成果が得られなかった」「D. 全く成果が得られなかった」の4分類で評価。

平成30年度「事務事業」評価調査

事業名	総合計画推進事務	担当課	政策推進課
施策	効率的・効果的な行政運営	推進施策	柔軟で総合的・計画的な行政運営
		総合戦略施策項目	

事業の目的				
計画的かつ総合的にまちづくりを展開していくため、今後のまちづくりの指針・ビジョンとなる総合計画を推進する。				
事業の概要				
平成30年度は、長期的・複眼的な視点でまちづくりを進めるため、SDGsを取り入れながら、第6期総合計画(R1~12年度)を策定した。行政指標や住民指標を踏まえながら計画的に総合計画を推進していく必要がある。				
平成30年度実施内容				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合計画審議会(21名)において、H29行政評価及び第6期総合計画策定にかかる係る審議(全11回)を実施。</li> <li>・SDGs未来都市部会(11名)において、下川町の将来像となる「2030年における下川町のありたい姿」の指標検討(全5回)を実施。</li> </ul>				
決算額(単位:千円)			事務事業の評価	
年度	29年度	30年度	評価結果	B. 一応の成果が得られた
決算額	8,068	3,434	課題	
財 源 内 訳	国道支出金	6,370	法令によるものや緊急を要するものを除き最上位計画である総合計画に基づいた事務事業の実施を通して、施策の目標達成を目指していく。	今後の方向性
	地方債			
	その他			
	一般財源	1,698		

事業名	各種統計調査事務	担当課	政策推進課
施策	効率的・効果的な行政運営	推進施策	柔軟で総合的・計画的な行政運営
		総合戦略施策項目	

事業の目的				
統計法に基づく各種統計調査を実施し、正確な実態の把握に努める。調査結果は各種行政施策の基礎資料として活用する。				
事業の概要				
調査は調査員の協力により円滑に行われている。今後も、調査の正確性を維持し円滑に実施する。				
平成30年度実施内容				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・住宅・土地統計調査(北海道が指定した5調査区から85世帯を抽出し実施)</li> <li>・工業統計調査(製造業者23事業者を対象に実施)</li> <li>・学校基本調査(小学校、中学校、教育委員会を対象に実施)</li> <li>・その他に、経済センサス基礎調査(R元年度)、農林業センサス(R2年度)、国勢調査(R2年度)における事前準備</li> </ul>				
決算額(単位:千円)			事務事業の評価	
年度	29年度	30年度	評価結果	B. 一応の成果が得られた
決算額	198	241	課題	
財 源 内 訳	国道支出金	185	今後も各種統計調査の正確性を維持し、円滑に調査を実施する。	今後の方向性
	地方債			
	その他			
	一般財源	13		

※評価結果は、「A. 期待以上の成果が得られた」「B. 一応の成果が得られた」「C. あまり成果が得られなかった」「D. 全く成果が得られなかった」の4分類で評価。

平成30年度「事務事業」評価調書

事業名	議会費	担当課	議会事務局
施策	効率的・効果的な行政運営	推進施策	議会機能の充実
		総合戦略施策項目	

事業の目的				
議会活動の活性化を図り、町民に分かりやすい議会を推進していく。				
事業の概要				
・議会だよりの発行、行政情報コーナーやホームページでの議事録公開、井戸ばた会議（町民と議員との対話）での意見交換会の開催。インターネット中継等及び、広聴広報町民モニターを継続。				
平成30年度実施内容				
・議会だより発行 4回 ・井戸ばた会議（町民との意見交換会）の継続 4回（延べ51名） ・広聴広報町民モニターの開始 6名委嘱 ・定例会・臨時会のインターネット中継（6月定例会まで）・録画配信の継続				
決算額(単位：千円)			事務事業の評価	
年度	29年度	30年度	評価結果	B. 一応の成果が得られた
決算額	36,581	35,121	課題	
財源内訳	国道支出金		議会活性化に向けた取り組みをさらに進め、町民の意思を反映する仕組みを検証・実施する必要がある。	
	地方債			
	その他			
	一般財源	36,581	35,121	今後の方向性

事業名	監査委員費	担当課	議会事務局
施策	効率的・効果的な行政運営	推進施策	議会機能の充実
		総合戦略施策項目	

事業の目的				
平成30年度監査実施計画に基づき、監査委員活動を円滑に行う。				
事業の概要				
例月現金出納検査の実施、決算審査などの監査等を実施。				
平成30年度実施内容				
・例月現金出納検査 ・各種会計決算審査（財政健全化判断比率等審査含む） ・基金運用状況審査 ・定期監査 など				
決算額(単位：千円)			事務事業の評価	
年度	29年度	30年度	評価結果	B. 一応の成果が得られた
決算額	947	956	課題	
財源内訳	国道支出金		公正で効率的・効果的な行財政運営を確保するため、適正な監査を実施する必要がある。	
	地方債			
	その他			
	一般財源	947	956	今後の方向性

※評価結果は、「A.期待以上の成果が得られた」「B.一応の成果が得られた」「C.あまり成果が得られなかった」「D.全く成果が得られなかった」の4分類で評価。

平成30年度「事務事業」評価調書

事業名	町税等賦課徴収等業務	担当課	税務住民課
施策	健全な財政運営	推進施策	安定的な財源確保
		総合戦略施策項目	

事業の目的

地方税、固定資産の国有資産等所在市町村交付金、第一号被保険者介護保険料、後期高齢者医療保険料に係る賦課・申告納付・申告納入等と徴収について、適正かつ公平な事務を徹底し、安定的な財源の確保を図ることを目的とする。

事業の概要

各税目・科目において、適正かつ公平な賦課等業務及び徴収業務を行う。  
また、納税者等の納税・納付意識の高揚を図り、収納率の向上に努める。

平成30年度実施内容

【適正かつ公平な賦課等事務】電子計算システム導入等。  
【適正かつ公平な徴収事務（収納率向上対策）】電子計算システム導入、口座振替の徹底、電話・文書等による催告、督促状送付、納税・納付相談実施による計画的な納税・納付（分納誓約書）、滞納者に対する月単位又は週単位での臨戸訪問徴収、納税・納付の進まない滞納者には、早期の財産調査・差押、国民健康保険税滞納者の短期被保険者証（3か月間又は6か月間）を交付。その中で特別な理由を除き納税されない場合、被保険者資格証明書を交付。

決算額(単位：千円)			事務事業の評価	
年度	29年度	30年度	評価結果	B. 一応の成果が得られた
決算額	8,699	10,873	課題	
財源内訳	国道支出金	4,495	各税目・科目において、現年度分の適正かつ公平な賦課等と徴収に努めているが、当該年度内での納付が困難な者も発生していることから、個別での納付相談等による対応により、未収金の解消を今後においても努めていく必要がある。	今後の方向性 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止
	地方債			
	その他	137		
	一般財源	4,067		